

# 2015 年度備忘録

福島清信

ライフスタイルデザイン研究センター

## 概要

2015 年度に携わった業務についての備忘録

### 1 PC 利用時間の記録

PC の利用時間を記録する方法について試行した。

#### 1.1 記録したい理由

3D プリンタやレーザー加工機等の機器は、ユーザーが自由に利用できるように設置している。これらの機器は一定の動作時間ごとに清掃や各部チェック等のメンテナンス作業が必要である。

従来は一定期間毎にメンテナンス作業を行っていたが、時期によって利用頻度に大きな差があるため、適切なタイミングで作業を行えているか疑問である。

このような理由から機器の動作時間を把握するために、制御用 PC の使用時間を取得できれば、それを積算することによってメンテナンス時期を把握できるのではないかと考えた。

#### 1.2 PC の利用時間を記録

機器制御用 PC は windowsOS であるため、ユーザーがログオンした時刻とログオフした時刻をイベントログに記録すれば、利用時間を算出できると考えた。実際にはイベントログにメッセージを書き込むスクリプトを作成し、それをログオン・ログオフスクリプト機能に割り当てた。これでログオン、ログオフが発生したときにイベントログに時刻が記録されるため、この差分を利用時間とした。

#### 1.3 結果と見直し点

期待したとおり利用時間の取得はできたが、各 PC 個別に設定し、ログの収集も PC ごとに行わなければならない、手間がかかる。これを解消するために PC を activedirectory 配下に収め、Windows ドメインのポリシーとしてログオン・ログオフスクリプトを設定すれば、ログはドメインコントローラに集約することができ、収集も容易であると見込み、構築、試行を行った。

ログの集約という目的は達成できたが、ログオンとログオフのイベントログが別々に記録されるため、対になる組合せを探す作業が発生する。これが割と手間のかかる作業だった。そこで、1つのイベントログでログオン・ログオフ両時刻を記録する方法を検討した。ログオンしているユーザーを表示するコマンド“quser”は実行結果にログオン時刻を表示するため、このログオン時刻をイベントログに書き込むようにスクリプトを修正し、ログオフ時のみスクリプトを実行するようにした。

#### 1.4 課題

概ね満足な結果が得られたが、ログ閲覧のためにドメインコントローラにアクセスする必要があることが難点であると感じる。また、PC を activedirectory 配下に置かなくてはならないことでシステムが大きくなってしまったと感じる。この点を解消する方法を検討・試行することが今後の課題と考える。

## 2 知識創造支援システムのリプレース作業

2016年1月稼働の知識創造支援システムのリプレース作業について携わった内容を箇条書きで記す。  
旧システムは2015年12月末まで稼働。

### 2.1 新システム納入業者との打ち合わせ

機器搬入時期、設置日程、動作確認作業、機器説明会日程の確認、調整。

### 2.2 設置予定場所の確認

電源容量、設置面積、床耐荷重の確認。設置レイアウトの確認。

### 2.3 納品物受入体制の整備

搬入経路確認、一時保管場所の確保、作業場所の確保。

### 2.4 旧システム撤去日程の調整

新旧同様の役割を果たす機器は置き換え。利用状況が密の場合は平行稼働も検討。

### 2.5 システム紹介方法の検討

Webサイトの構築。

### 2.6 機器写真撮影

主に記録のため。ユーザーからの返却時の内容確認に利用することでケーブル等の付属品の紛失防止効果を期待している。

過去に同様の案件に携わった時は搬入経路の変更や作業場所の確保不足といった反省すべき点があったため、今回はこの点を重点的に確認を行った。おかげで大きなトラブルもなくスムーズに作業ができた。今後はこれらの機器の管理を効率よく行えるよう取り組んでいきたい。

以上